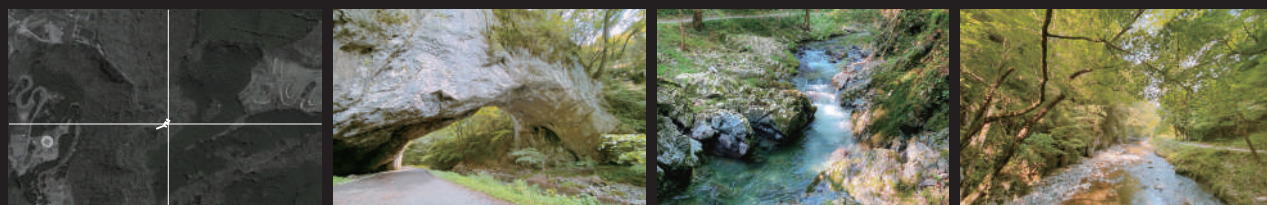


森に棲む

廊下を無くして、壁を取り払い、自然に飲み込まれそうな“究極の安らぎ”を感じることができる住宅を提案する。住宅は休むためである。働く人は安らぎや安心感を得るために帰る。現代社会では、プライベート空間を意識しすぎたために、“廊下”が部屋から部屋に移動するための手段となっている。廊下を歩くだけで、ワクワクしたり安心感を感じることができるのなら、自然に面した一番外側に廊下を配置することで、風景に目が引かれる。部屋の床から外に続く廊下は、中と外を繋ぐ顔線のようなだ。

室内空間が外へと拡張され、解放性がよりいっそう補強され、外との直接的なつながりもたらされる。川の流れと同じ方向にむく住宅は、風が吹くように水平方向の動きを加え、木々に呼吸しているようにも見える。木を避けて住宅が建ったのか、住宅を避けて木が生えてきたのか、数キロにも及ぶ渓流と、その中に潜む住宅。屋根の下では遠くにある木々や川ささえも一つの空間となっている。

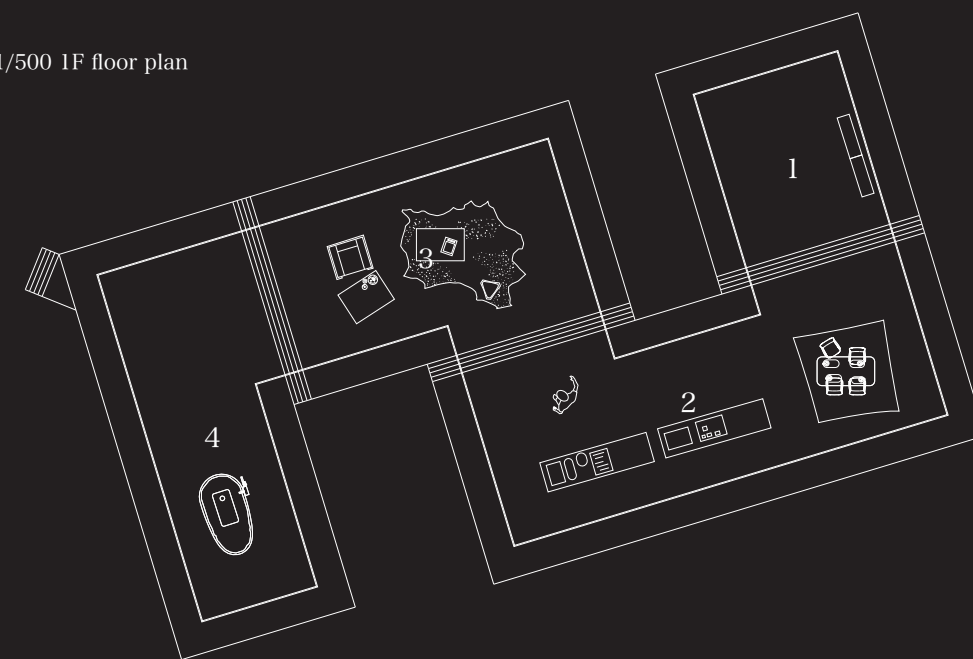
考えていることを一度止めて、川のせせらぎや鳥の囀り、優しい風が肌に触れ、自然に身を委ねる。



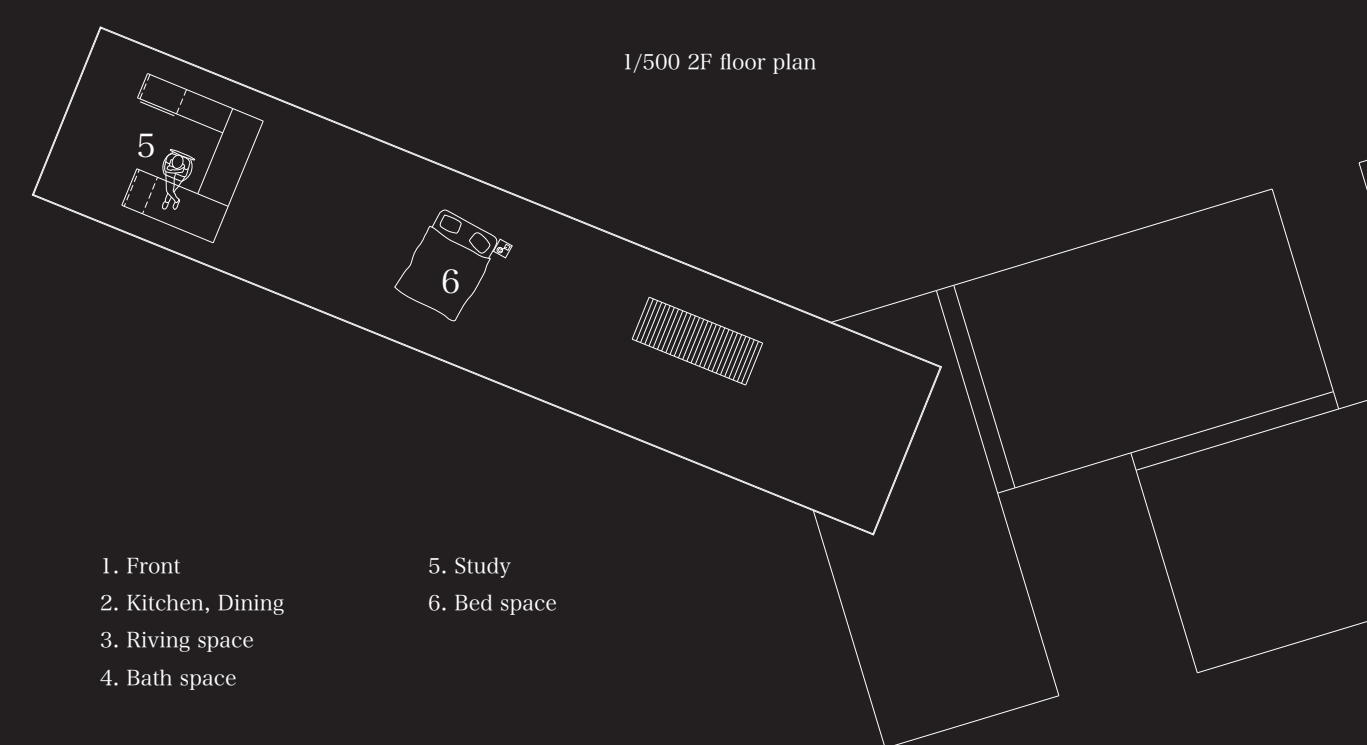
帝釈峡 (広島県庄原市)

帝釈峡は、中国山地に位置する広島県北東部の庄原市及び神石郡神石高原町にまたがる、全長18キロメートルの峡谷。国の名勝に指定されており、比婆道後帝釈国定公園の主要景勝地。

1/500 1F floor plan



1/500 2F floor plan



- 1. Front
- 2. Kitchen, Dining
- 3. Living space
- 4. Bath space
- 5. Study
- 6. Bed space